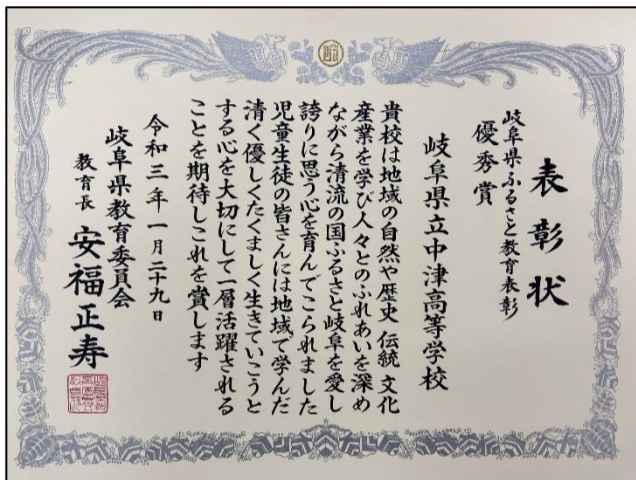




ふるさと教育表彰で優秀賞

今年度、学校での優れたふるさと教育の実践を表彰する「岐阜県ふるさと教育表彰」にて優秀賞を受賞しました。今年度は、コロナ禍で様々な制約がある中で、オンライン等を活用し、工夫しながらふるさと教育に関して取り組むことができました。何よりも、生徒の皆さんが前向きに取り組んでくれたことが良かったと感じます。来年度も引き続きふるさと教育に取り組んでいきます。1、2年生の皆さんは、この地域の良さを知るとともに、課題を見つけ高校生目線で解決策を考えていきましょう。卒業生の皆さんは、この地域の内外からそれぞれの専門分野の知識や経験を生かし、引き続きこの地域に貢献してくれることを願っています。



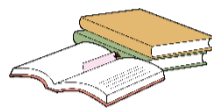
◆弁論大会クラス代表者◆

1年生

- A組 水島麻貴「生活を変える香り」
- B組 中陽菜子「貧困について考える」山
- C組 山本航輝「命のバトン」
- D組 土井陽咲「グローバル社会を生きる」
- E組 佐藤秀伸「幼児の性格について」
- F組 土井渚月「ため息の必要性」

2年生

- A組 伊藤彰紀「平和の教科」
- B組 松井涼花「お金か?幸せか?~ディズニーブライダル心理学~」
- C組 横井乃愛「自分らしく死ぬ」
- D組 宮田日和「今からでも遅くない!受験で下剋上を果たす勉強法」
- E組 成瀬希望花「効果音で左右される心理」
- F組 吉村奏汰「AI心理学の道」



来年度前期生徒会立会演説会

2月9日(火) 令和3年度の前期生徒会立会演説会がオンラインにて行われました。例年3月に行っていた次年度の生徒会選挙を今年から約1か月早めて行うことで、来年度の取り組みについて考える時間を多くとれるようになり、6月開催予定の旭陵祭に向けた準備も早めから



開始できるようになりました。立候補者は、オンラインということで慣れない中でしたが、堂々と公約や自分の想いを熱く語ってくれました。遠くの教室から拍手の音が聞こえると少しホッとした表情を浮かべていました。生徒会長となった佐々木日向さんを先頭に、中津高生が一丸となって、中津高校をさらに活気ある高校へ導いていって欲しいと思います。

弁論大会学年発表

中津高校の伝統行事である「弁論大会」の学年発表が行われました。2月2日(火)に1年生、4日(木)に2年生が、それぞれ体育館にてコロナ感染症予防に配慮しながら行いました。例年であれば、2年生の部に1年生が参加するのですが、今年度はオンラインにて教室からの視聴となりました。(残念ながら音声の不調)また、ポスターセッションも密になるため実施しませんでした。いろいろな制約のある弁論大会となってしまいましたが、クラス発表を経て代表に選ばれた生徒が堂々と語ってくれました。審査の結果、最優秀に選ばれたのは、1年A組の水島麻貴さん、2年D組の宮田日和さんです。おめでとう!そして、素晴らしい弁論をありがとう!この弁論大会を通して知ったこと、考えたことを今後の高校生活や進路決定に生かしていって欲しいと思います。



域学連携活動発表会



2月20日(土) 中津川市内外の学生と地元の方々協力して地域活性化に取り組んでいる域学連携活動の発表会がオンラインにて行われました。本校から2年生の3名が「SDGsと中津川市」をテーマに発表し、市民の方々が、市役所の会場や自宅から視聴しました。今年度本校が力を入れてきたSDGsのゴール「住み続けられるまちづくり」について、中津川市の課題である人口減少の解決策と魅力ある街づくりについて高校生目線で発表してくれました。このように、来年度以降も積極的に校外で発表することで、これからの時代に大切となってくる「発信力」を磨いていって欲しいと思います。



市民の方々が、市役所の会場や自宅から視聴しました。今年度本校が力を入れてきたSDGsのゴール「住み続けられるまちづくり」について、中津川市の課題である人口減少の解決策と魅力ある街づくりについて高校生目線で発表してくれました。このように、来年度以降も積極的に校外で発表することで、これからの時代に大切となってくる「発信力」を磨いていって欲しいと思います。